

甲状腺右葉摘出手術の記録

日付	時間	所見	私見	イベント
2013年3月 25日(月) 手術前日				入院
26日(火) 手術当日	0900			地下の手術室へ 看護師とともに 歩いて移動
	0910			看護師から手術 室に入ったと報 告。PHSを渡さ れ、手術後手術 待合室で合流、 一緒に病室に戻 ると説明受け る。
	1220	<p>医師が摘出した甲状腺を持ってくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 京栗位の大きさ。中央に少々固いものがあり、それが病巣とのこと。詳しくは今後病理に出し、1週間位で結果出る。 ▶ 切断面にはがん細胞は見られないようなので他の部分は大丈夫だろうとのこと。 		
	1230		意識あり。吐き 気があるとのこ と。	ベッドに乗った まま手術室から 出て、病室へ移 動。
	1240		セッティング中 食堂で待つよう 看護師に言われ る。	看護師らが病室 で酸素、モニタ ー、輸液類をセ ッティング。
	1315		なかなか呼ばれ	

			ないので病室に戻るとすでにセッティング完了、看護師撤退後だった。	
	1320			手術終了の電話報告。
	1350	看護師訪問 検温 (36.4℃)、血圧、点滴チェック (スピード調整)。	輸液：テルモ ソルデム 3 A 500ml	
	1450	看護師訪問 検温 (36.1℃)、血圧 (116/69)、 点滴チェック (スピード調整)。		
	1520			いびきをかく。
	1530	医師たちの訪問 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 声帯に損傷がないか、右の鼻からスコープを入れて確認。 ▶ 血液抜き取り (ドレイン) のチェックを説明。まれに機能不全だからという話。 		
	1605	看護師訪問 点滴の確認、血液抜き取り容器の確認。		
	1625	看護師訪問 輸液交換：黄透明の液体から無色透明の液へ。水分とカロリーとのこと。	ソルデム 3A	
	1650	看護師訪問 輸液、尿カテーテル、血液抜き取りの確認。	折っていた左肘を伸ばしたいと看護師に相談、伸ばしてもらおう。輸液の針が手の甲に入って	

			いるので、手首の曲げ伸ばしは禁と忠告。	
	1710	<p>医師訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 具合を尋ねる。 ➤ 18 時頃、尿カテーテル脱予定。 ➤ 飲めれば口から水分挑戦。 ➤ 明朝は朝食挑戦。 	深呼吸すると苦しいと相談。医師曰く、術中の人工呼吸器の影響とのこと。数時間で感じなくなるだろうとのこと。	
	1810	<p>看護師訪問</p> <p>酸素吸入器のレベルを 3 から 2 に下げた。</p>		
	1830	<p>看護師訪問</p> <p>検温(36.7℃)、血圧(107/66)。ベッドの背を上げた。酸素吸入のマスクを終了。10 分位おいて大丈夫だったら、尿チューブを抜いて、歩行に挑戦しようと提案。</p>	胃の違和感。唾液のようなものを吐き出す。鼻をかんでみた。	
	1850	<p>看護師訪問</p> <p>尿チューブをつけたまま、2m 位室内歩行挑戦。吐き気を訴えベッドへ戻る。本日の尿チューブ脱は断念。寝間着だけ変えようかと提案。</p>	立ち上がると吐き気。唾液のようなものを吐く。ゲップもあり。	
	1910	ヘルパーさん訪問	前開きパジャマが必要ということで、売店にて購入。	
	1930	ヘルパーさん訪問 パジャマ着替え。		
	1940	看護師訪問 輸液交換 (同じもの)。		

	1950	看護師訪問 吐き気止め輸液追加（プリンペラン 10mg/生理食塩水 50ml）。		
27日(水)				雨、曇り、寒い
術後1日目	0755		尿チューブ着、吐き気、すいのみで自力水分摂取。夜中尿意があり看護師に相談。尿チューブの先端が吸わない状態だったよう。調整してもらい改善。吐き気について、輸液では6時間おきでの投与となるので、その間は坐剤で対応することを検討とのこと（昨夜の輸液投与以降、まだ坐剤・輸液いずれも投与はなしとのこと）。	こう到着 パジャマもう1セット購入
	0900		診察のため、車いすで7階処置室へ移動。吐き気は昨日より落ち着いている。	
	0915	7階処置室 医師診察 ➤ 鼻を診る。 ➤ 右鼻からスコープ入れ、いくつか発声を試す。声が枯れていないので大丈夫		

		<p>夫そう。</p> <p>➤ 明日は切開箇所を圧迫を外して、喉の傷を診ること。</p>		
	0935		寒いとのことで追加の布団をもらおう。	
	0955	<p>看護師訪問</p> <p>検温(35.9℃)、血圧(110/63)。輸液追加(抗生物質セフアメジ)。</p> <p>生命維持モニター(Vital monitor)外す。</p>		
	1120	<p>看護師訪問</p> <p>抗生物質のパック終了を確認。夕方また投与すること、パックはそのままおくとのこと。</p>		
	1150		温かくなったと言って自主検温(36.6℃)。	
	1215	<p>看護師訪問</p> <p>輸液交換(ソルデム3A)</p>		
	1230		<p>食事挑戦。おかゆに「ご飯ですよ」をつけて。煮物の芋、ニンジン。</p> <p>食後、歩行を試したいと希望。消化のため30分は安静にして、その後試してみることに。</p>	<p>昼食</p> <p>食事に添付の海苔の佃煮では足りず、追加分を売店で購入。</p>
	1330		食後の変化もなかったため、歩	

			行に挑戦。吐き気、ふらつきもないとのこと。のどの痛みがあるとのこと。花粉用マスクを着用。尿チューブ脱。	
	1600	看護師訪問 抗生物質輸液追加。 22時に抗生物質輸液をもう1つ付けて、それが終われば輸液類終了とのこと。	一人でトイレに行く。 寒いので肌着を着ていいかと、看護師に確認。 OKとのこと。	前開きの肌着を売店で購入。着用。
	1700	看護師を呼ぶ。 のどの痛みとたんについて相談。自然の過程だからと、特に処置はなし。	人工呼吸器について質問。	
	1730		歩行練習。 電話ブースまで歩いて、自ら電話。	
	1800	医師訪問 たんについて相談。 明日 900 に診察とのこと。		
	1815		結構食べた。 口内炎が痛いので、柑橘は残した。	夕食
	1840			追加のティッシュと醤油購入。
	夜		自分で入れ歯掃除。輸液終了後、チューブに血液が逆流して処置してもらった。	

28日(木)				曇り 暖かい
術後2日目	0800		朝食(納豆、おかゆ、梅干し、おひたし、野菜ジュース食)。 輸液類なし。針のみ残。 血液抜き取りは、薄い色。	こう到着 朝食中
	0900	7階処置室訪問 医師診察 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 傷口チェック: OK のこと ➤ 血液抜き取り: 昨日 5ml、今日 9ml と増えている。今日外してもだめではない程度だが、念のため明日にする。 ➤ 圧迫: 切除した甲状腺右葉の箇所に皮膚上からガーゼ団子を押さえつけて圧迫状態を作っていた。(切除した個所に血がたまるからそれを防ぐため) 今日圧迫を外してみ、明日血液抜き取り脱後にまた圧迫の予定。 	自力歩行で処置室へ。	
	午後		午後 37.8℃ の熱。その前少々寒気があったとのこと。夜には平熱。アイスノンのみで対処。夕飯の食べすぎで胃もたれ。	
29日(金) 術後3日目	午前		朝の検診にて血液抜き取りが	

			<p>9ml 位なので、チューブ脱。麻酔などはせず、そのまま引き抜き。(挿入口にて軽くチューブと表皮を縫い合わせていたようで、その糸を切った)違和感があったが痛みはなし。穴を縫ったりはしていない。</p> <p>ガーゼ団子で圧迫、テープ止め。</p>	
	午後		<p>37.5℃、アイスノン使わず。</p> <p>19時には36.6℃になる。</p>	
	1910	<p>医師訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 熱について：甲状腺の機能に代謝と体温のコントロールがあるので、その関係かも。 ➤ 声の変化について聞かれた：圧迫もあるのでまだよくわからないと返事。医師の聞いた感じでは変化なし。 ➤ 明日は当直で終日在院、明後日は若い女医がいます。 		
	2005	<p>看護師訪問</p> <p>血圧(109/49)、検温(36.7℃)、脈拍数、血中酸素飽和度は正</p>	➤	

		常とのこと。		
30日(土) 術後4日目			<p>圧迫撤去。テープかぶれ（特に処置なし）。</p> <p>発熱なし、排便あり。</p> <p>夕食ほぼ完食。</p> <p>口内炎の薬処方（アフタッチ）。</p>	お見舞い客あり。
	1830			こう訪問
31日(日) 術後5日目	午前	<p>医師訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ほくろの検診のため、皮膚科医師の予約を入れてもらう。 ▶ 傷テープ交換：傷上にガーゼ、その上から防水テープを貼る。 		
	1100		<p>入浴（髪、足先洗う。湯船にはつからず、傷口を濡らさないようにした）。</p>	
	午前	<p>看護師訪問</p> <p>皮膚が引っ張られる感じが無いか確認（感じ無し）。</p>	<p>顎より下、中心から右45度位間、触れるとしびれるような感じがある。</p> <p>口内炎薬変更（ケナログ5g0.1%軟膏）。</p>	
	1510		母、PC中。	こう訪問
	2100	<p>看護師訪問</p> <p>血圧(122/72)</p>		
4月1日(月) 術後6日目		朝の診察で、傷口半分の抜糸。	<p>体重 42.5 kg</p> <p>顎下右側痺れ、浮腫みあり。</p>	こう訪問なし

			リンパ節切除の場合には浮腫みが出るとのことだが、今回は切除していない。	
2日(火) 術後7日目			体重 42.5 kg 傷口残り半分も抜糸。 手術では、切開上皮を喉仏の所までめくった、とのこと。	こう風邪のため 訪問なし
記録終了			➤	
			➤	
			➤	
			➤	
			➤	
			➤	
			➤	

記録作成者：ひのかわこう

記録対象：2013年3月25日～4月4日 都立駒込病院 静枝の入院記録
甲状腺がん「甲状腺右葉摘出」手術経過